

第30回MQI活動

2025年度MQI統一主題

新たな挑戦への一步を共に踏み出そう

みみより
MQI



発行（公財）練馬総合病院MQI推進委員会
〒176-8530 練馬区旭丘1-24-1
Tel.03-5988-2200（代）

2025年度 MQI活動キックオフ
推進委員長 柳川達生



令和6年12月7日、第29回発表大会が地下講堂とWebのハイブリッド形式で開催され、MQI活動はついに30年目を迎えました。本年度の統一主題は「新たな挑戦への第一歩を共に踏み出そう」です。

地域の急性期医療ニーズに応え続けるためには、当院の機能を着実に拡充していく必要があります。多くの課題に直面するなかで、職員一人ひとりが主体的に取り組む姿勢こそが、その実現への鍵となります。

病院経営には、医療と経営の質の両立を目指すTQM（総合的質経営）の推進が不可欠です。TQMは管理職だけでなく、全職種が参画する“みんなの経営”の考えに基づきます。その実践の場がMQIであり、職員は活動を通じて、TQMの5つの視点（全員参加・顧客志向・継続的改善・データに基づく判断・仕組み化・見える化）を体得していきます。

今年も5月24日に「半日で活動計画を立てる会」を開催し、7チームによる活発な議論が展開されました。MQIは単なる業務改善にとどまらず、病院全体にTQMを浸透させる仕組みです。全職員が視点を共有し、方針管理と日常管理を通じて経営に貢献することが、持続可能な医療体制の構築につながります。

MQI活動キックオフ （CoMedixによる動画配信形式）

- ①「MQIキックオフ」 東宏一郎MQI推進委員副委員長
- ②「MQIで実現してきたこと」 渡邊輝子MQI推進委員

CoMedix内のバリテスより、いつでも動画視聴が可能です。
格納場所： バリテス > 研修・講義 > R7年度MQIキックオフ

2025年度 MQI活動キックオフ実施報告（期間：2025.3.12～4.12）

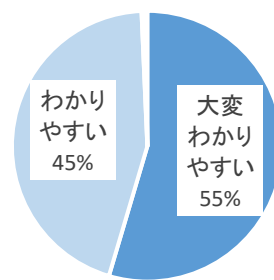
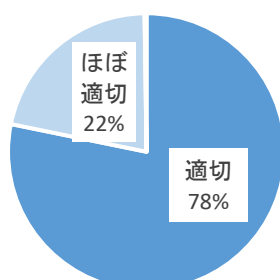
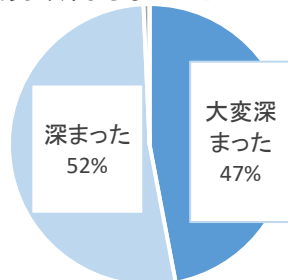
MQI活動キックオフ開催動画視聴アンケート 回答：436名

研修受講により理解は？

研修の方法（進め方）は？

研修は分かりやすいか？

あまり深まらなかった 1%



感想（一部抜粋）

- MQIで実現した活動の振り返りを見て、活動の重要性を再認識した。
- MQI活動により業務改善につながった事例を知り、活動を身近に感じた。
- 過去のMQI活動の成果が現在の業務負担軽減につながっているということがよくわかった。
- 院内の安全で効率のよい業務がMQI活動によるものであると知る機会になってよかった。
- 以前の活動で現在も標準化して継続している他部署の業務を思い出し、今後の活動内容を検討する必要があると思った。
- 参加メンバーの一員として手を挙げられるようになったらと思っています。
- 今年度の活動も楽しみです。
- 歴史を感じました。

2025年度 MQI推進委員会メンバー

委員長	柳川 達生	（理事長・院長）
副委員長	東 宏一郎	（副院長・内科医師）
副委員長	金内 幸子	（医療マネジメント室）
委員	小谷野 圭子	（質保証室）
	森 美奈子	（薬剤科）
	渡邊 輝子	（入退院支援室）
	北野 和彦	（臨床工学室）
	北島 絵理佳	（栄養科）
	小宮山 海渡	（検査科）
☆はNEWFACE	☆山崎 勝巳	（検査科）
	☆乾 美奈子	（看護部・外来）
	☆岩渕 真耶	（放射線科）
	☆赤木 久美	（看護部・2F）
	☆大澤 竜太	（リハビリテーション科）
	☆小吹 伸也	（リハビリテーション科）
	☆望月 薫	（医事課）
	☆毛利 英美子	（経営企画室）
事務局	増井 身和	（人事経理課）
	山越 真弓	（質保証室）

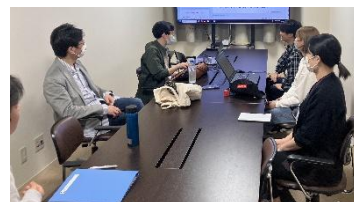
2025年度参加チーム紹介

テーマ・チーム名 主体部署 リーダー・サブ	チームリーダーからひとこと
『こぶし棟1階を利用した運動教室』 チーム名:パラダイスオールスターズ リハビリテーション科 リーダー 青山駿 サブリーダー 志村拓哉	 退院患者や外来リハビリ終了患者から運動を継続できないかとの声が度々ありました。そのため、リハビリテーション科では運動教室を開催することにより運動機会を提供できればと考えています。
『保険情報への理解 ～電子処方箋に対応できる体制づくり～』 チーム名:ホケンノヒト 医事課 リーダー 近藤拓也、 サブリーダー 關山恵理	 電子処方箋では保険情報が正しくなければ現行通り紙処方箋として対応しなければなりません。本活動を通して、処方箋の保険情報誤りの傾向を把握・分析し、電子処方箋に対応できる体制を整えていきます。
『当日依頼エコー検査を円滑に受ける』 チーム名:臨床検査科(UltraSonographer) 検査科 リーダー 藤井健介 サブリーダー 栗原真吾	 耳鼻科、脳神経外科など診療科が増えたこともあり、エコー検査だけでなく生理検査室全体の検査件数が増加しております。活動を通じて検査室全体の業務整理、改善に貢献できるよう、努めてまいります。
『肥満症治療にチームで取り組む』 チーム名:チームポチャッコ 薬剤科 リーダー 関口このは サブリーダー 沼口隆太郎	 肥満症治療薬は処方のために様々な要件があります。今回の活動で要件を満たし、治療の流れを作り、各職種の専門分野を活かしたサポートができるようにしたいと思います。
『緊急検査体制の構築と MRI予約待機期間の短縮』 チーム名:ラジエーションハウス 放射線科 リーダー 岡村春菜 サブリーダー 田頭崇 安田恵里佳	 救急患者の増加により、緊急検査の需要が大幅に増えています。活動を通じて予約と緊急の両方にスムーズに対応できるような検査体制を構築していきたいと考えています。
『In Circle talkの運用を決め、 多職種から医師への連絡に活用する』 チーム名:つながらな～す 看護部 リーダー 三好翔太 サブリーダー 矢部紅葉	 ICTは、医師が手術や外来中でも電話をせずに報告できたり、カルテメールの受信がリアルタイムで把握できたり等のメリットがあります。医師との連絡が円滑になり、業務の効率化が図れると考え、ICT活用に向けた取り組みをしていきます。
『経鼻内視鏡における鼻腔麻酔法の改善 と標準化の取り組み』 チーム名:はなセレブ♪ 内視鏡センター リーダー 堀川由佳 サブリーダー 生沼恭平	 苦痛のイメージが強い内視鏡ですが今回のMQI活動を通して、検査前から検査中、検査終了まで、不安や苦痛を最小限に検査が受けられ、また「当院で内視鏡を受けて良かった！」と感じて頂ける取り組みにしていきたいと思っています。

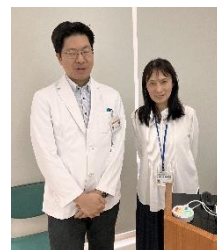
MQ | 半日で計画を立てる会 2025年5月24日 13時~17時30分

★ 参加の皆さま、お疲れ様でした! ★

参加者 56名



チームメンバーの先生方も参加してくれ、活発な討議ができました!



質疑応答、ありがとうございました!



★教育委員会の方々からコメントを頂きました★



各チームに対する役職者からのコメント（一部抜粋しました）

チーム：パラダイスオールスターズ 「こぶし棟1階を利用した運動教室」

リハビリ科の職員健康推進に続き、患者さんへの運動教室立ち上げとても期待しています。70代を過ぎると「運動する」という機会が少なく、わざわざ区役所のスポーツセンターに通っています。こういった人達は意外と多く、これの受け皿を普段来ている病院で出来ると患者さんたちは嬉しいと思います。ぜひ定期開催までこぎつけてください。

チーム：ホケンノヒト 「保険情報への理解」

～電子処方箋に対応できる体制づくり～

電子処方箋に対応できる体制の構築は、医事課、看護師、医師の業務負担軽減となるのが今年の活動を通して、病院全体で共通認識をもてることを期待しています。

チーム：臨床検査科(UltraSonographer) 「当日依頼エコー検査を円滑に受ける」

医師はどんな時でも「自分の患者が最優先」になってしまうと思うので、至急で依頼できる基準値(例など明示)を設けてこれをクリアすれば緊急OKなどと先生方も納得してくれるかもしれません。

チーム：チームポチャッコ

「肥満症治療にチームで取り組む」

肥満症は単なる自己管理の問題ではなく、医療による包括的な支援が不可欠であり、多職種連携が鍵となる、今後ますます重要になってくるテーマだと思います。患者さんへの啓蒙活動の開始が8月、効果確認が10月と期間が短いため、実例数が少なかった場合には効果や評価の判定が十分にできなくなる懸念があります。

チーム：ラジエーションハウス 「緊急検査体制の構築とMRI予約待機期間の短縮」

MRI検査の依頼が増えている中、救急患者さん用の枠の確保にも苦労されていると思います。この活動により、予約患者さんにとっても救急患者さんにとっても検査を受けやすい体制ができることを期待しています。予約待ち期間のデータ集計は、患者さんの希望曜日や検査の緊急度などが関係する可能性があり、なかなかデータの集計が難しいと思われるので、データの取り方をきちんと決めておく必要があります。

チーム：つながらな～す

「In Circle talkの運用を決め、多職種から医師への連絡に活用する」

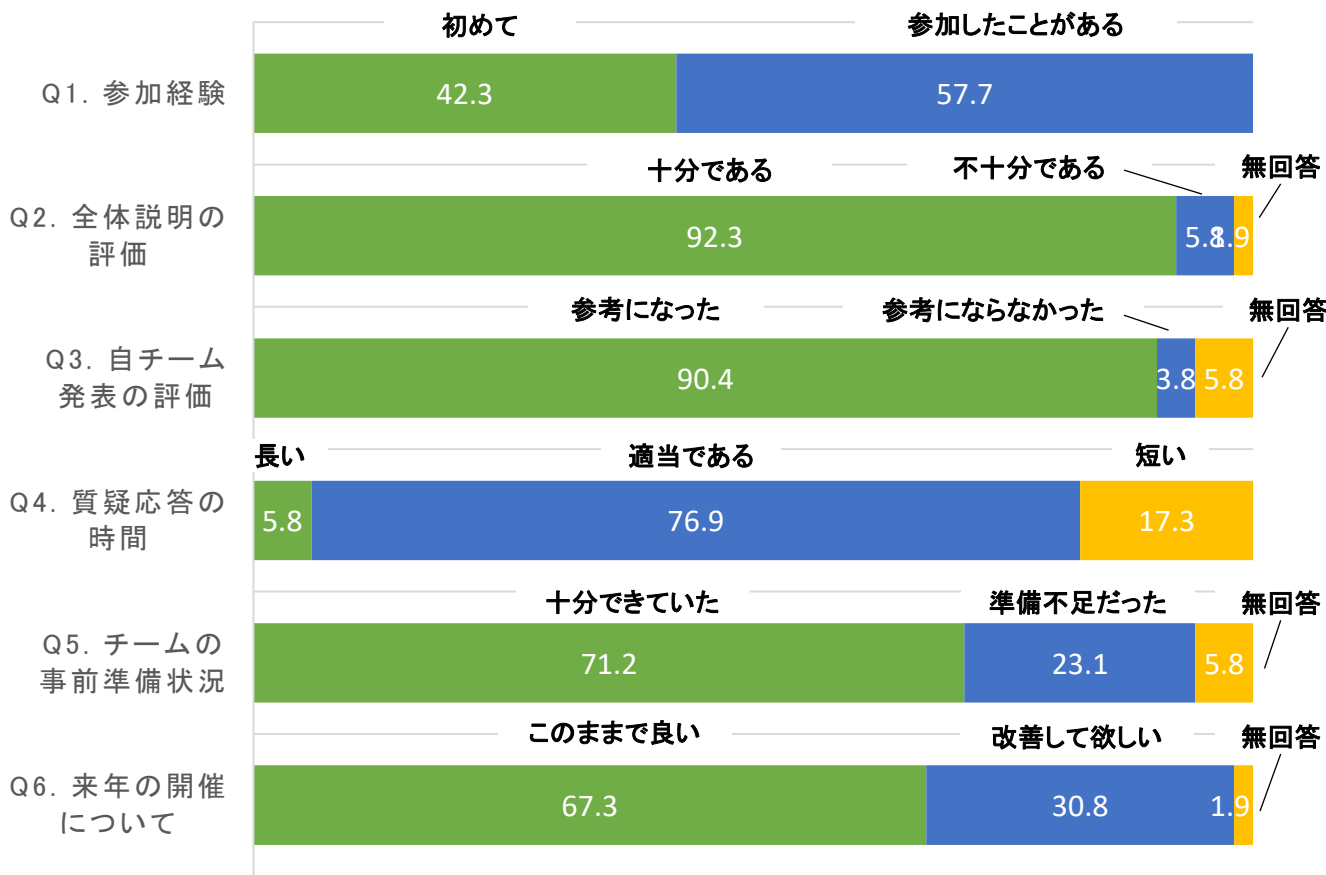
ICTをどんどん活用できるようになれば医師だけでなく各部署の連携がスムーズにとれるようになると思うので、是非頑張ってください。定義書にも記載がありますが、連絡内容のルール化がしっかりと出来れば、業務効率アップにつながると思います。

チーム：はなセレブ♪

「経鼻内視鏡における鼻腔麻酔法の改善と標準化の取り組み」

負担が少ない方をベースにする取り組みがとてもいいと思いました。病棟としては問診票を扱う場合があります。鼻と経口のメリット・デメリットがわかる用紙も出力された方がいいと思いました。

半日で計画を立てる会のアンケート結果 回答：56名



2025年度 MQI 活動予定表

3/12~4/12	5/24	6/17	7/15、8/5	8/26、9/2	10月	10/15	11月	12/6	2月	
(動画配信)	キックオフ	半日で計画を立てる会	チーム別相談会①	チーム別相談会②	チーム別相談会③	発表スライド×切	予演会	報文集作成	発表大会	継続フォローの会

↑ 今、この地点です。
チーム別相談会のアドバイスを参考にしてください。

今年度のMQI発表大会は12/6(土)に開催予定です。今年度も発表大会までに報文集作成を完了します。定義書や発表スライドなどの提出物に遅れがないよう、×切にご注意ください。

第1回チーム別相談会を6/17(火)に開催しました。7月、8月に第2回チーム別相談会があります。7月、8月のチーム別相談会では、対策実施まで進むことを目指して、各チーム活動に取り組んでください。